



インフラストラクチャのトラブルシューティング

- [ブレードサーバの破損した BIOS の復旧 \(1 ページ\)](#)
- [ラックマウントサーバの破損した BIOS の復旧 \(2 ページ\)](#)

ブレードサーバの破損した BIOS の復旧

非常に珍しいケースですが、ブレードサーバの問題により、破損した BIOS の復旧が必要になることがあります。この手順は、通常のサーバメンテナンスには含まれません。BIOS の復旧後、ブレードサーバは、そのサーバで実行されているバージョンのファームウェアを使用してブートします。

始める前に



重要 サーバ上で破損している BIOS の復旧を試行する前に、そのサーバに接続またはマップされている USB ストレージをすべて取り外します。外部 USB ドライブが vMedia からサーバに取り付けられた、またはマップされている場合、BIOS の回復に失敗します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope server <i>chassis-id / server-id</i>	指定したシャーシ内の指定したブレードサーバでシャーシサーバモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /chassis/server # recover-bios <i>version</i>	指定した BIOS バージョンをロードし、アクティブにします。
ステップ 3	UCS-A /chassis/server # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

例

次に、BIOS を復旧する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1/7
UCS-A /chassis/server # recover-bios S5500.0044.0.3.1.010620101125
UCS-A /chassis/server* # commit-buffer
UCS-A /chassis/server #
```

ラックマウント サーバの破損した BIOS の復旧

非常に珍しいケースですが、ラックマウントサーバの問題により、破損した BIOS の復旧が必要になることがあります。この手順は、ラックマウントサーバの通常メンテナンスには含まれません。BIOS の復旧後、ラックマウントサーバは、そのサーバで実行されているバージョンのファームウェアを使用してブートします。

始める前に

重要 サーバ上で破損している BIOS の復旧を試行する前に、そのサーバに接続またはマップされている USB ストレージをすべて取り外します。外部 USB ドライブが vMedia からサーバに取り付けられた、またはマップされている場合、BIOS の回復に失敗します。

手順

	コマンドまたはアクション	目的
ステップ 1	UCS-A# scope server <i>server-id</i>	指定したラックマウントサーバでサーバモードを開始します。
ステップ 2	UCS-A /server # recover-bios <i>version</i>	指定した BIOS バージョンをロードし、アクティブにします。
ステップ 3	UCS-A /server # commit-buffer	トランザクションをコミットします。

例

次に、BIOS を復旧する例を示します。

```
UCS-A# scope server 1
UCS-A /server # recover-bios S5500.0044.0.3.1.010620101125
UCS-A /server* # commit-buffer
UCS-A /server #
```

翻訳について

このドキュメントは、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点で、英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。